

実際の

"タグラグビー"に挑戦!

うんどうの達人プログラム

【4・5歳児対象】

準備物

- すずらんテープ
- ラグビーボール
- 笛
- マーカーやカラーコーン 10個

3つのポイント『楽しさ』『コミュニケーション』『体力向上』

STEP 1 今まで実施したうんどうの達人プログラムの振り返り

5分

環境構成

- 活動前にタグを装着し準備をする
→すずらんテープを30cm程度に切って作っておく
(人数分×2)
- 装着する際は屋内などで、落ち着いて行う

活動の進め方

- ①本物のタグを使用する場合、柔らかい部分や硬い部分があることを確認する
→振り回して硬い部分が当たると怪我をしてしまう可能性があることを伝える
- ②後ほどタグを取るあそびをするため、今はタグに触らないよう伝える
- ③今まで実施したタグやボールを使った動きの特徴を振り返る
→タグを取られないように「逃げる」やお友達に優しく「パスする」や決められたエリアで「トライ」をするなど
→先生が一方向的に伝えるのではなく、子ども達が思い出すように質問すると良い
「〇〇鬼ってどういう遊びだったかな?」など
→活動の注意点も子ども達が思い出すように質問する
「逃げるときは何に注意するんだっけ?」など

STEP 2 ボールを使った準備運動

5分

ストップ&ゴー

環境構成

- 一人一人の間隔を大きく取る
- 事前に危ない箇所などにマーカーやカラーコーンなどを置き、子ども達に近づかせないようにする
- 一度に行う子どものおよそ半数の子どもにボールを渡しておく

活動の進め方

- ①ボールを持っている子ども達はゆっくり歩きながら(歩くコースは定めない)笛の合図に合わせて近くのお友達へボールを渡す
→ぶつかったり、ころんだりしないように注意を促す
→笛が鳴ったら普通に手渡し、手を叩く音が聞こえたら股下から手渡しなど変化をつけて楽しむ
- ②身体が温まったら「膝の曲げ伸ばし」「アキレス腱伸ばし」など、慣れている準備運動を行う
→準備運動の際に「今日は楽しくたくさん動こうね!」などと、子ども達がワクワクするよう声かけを行う。

STEP 3 導入(タグ取り鬼ごっこ)(トライを決める突破鬼)

10分

タグ取り鬼ごっこ

環境構成

- 近くのお友達とペアを作り、座る
- ペアでお互いのタグを引っ張り、タグが取れることを確認する

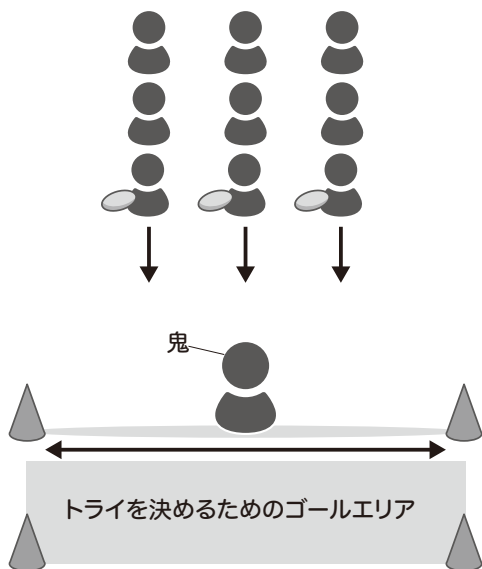
活動の進め方

- ①タグ取り鬼ごっこのルールを説明する
→ペアでお互いのタグを取り合う遊びであることを伝える
→タグを取ったら「タグ!」と大きな声で言い、タグを返すときには優しく丁寧に返してあげ、返された子どもは「ありがとう」ときちんと言い、お互いにハイタッチすることをルールとする
→夢中になり、タグを取りに行くときなどに手が相手に強くぶつからないよう注意を促す
- ②先生の開始合図でタグ取り鬼ごっこをスタート
→あちこちに動き回るとぶつかる可能性があるため、広がりすぎない様注意しながら、タグ取り鬼ごっこを楽しむ

トライを決める突破鬼

環境構成

- 3名1グループを作り、図のように並ぶ
- 前のグループから順にボールを配布する
- ボールを持つときのお約束(お話中はボールを手放さない、人にぶつけないなど)を伝える
- 図のようにマーカーやカラーコーンを置くなどして鬼が動けるエリアを設定しておく
- さらに鬼のうしろにマーカーやカラーコーンを置くなどしてゴールエリアを設定しておく



活動の進め方

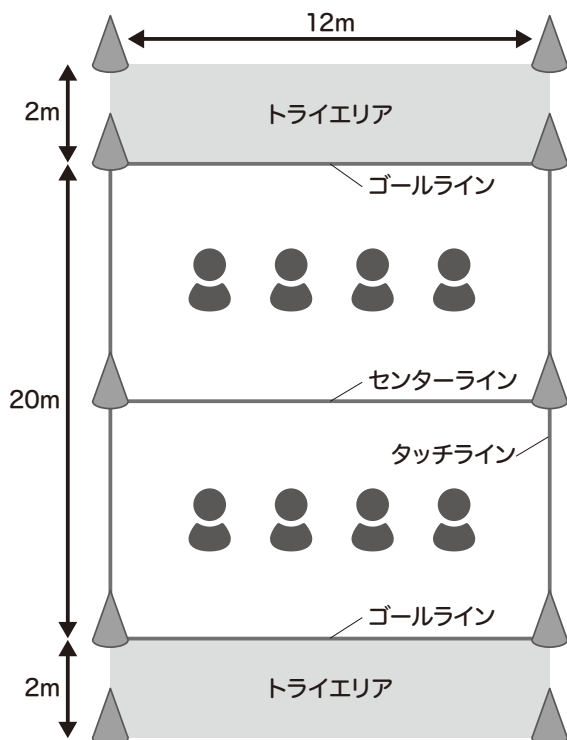
- ①トライを決める突破鬼のルールを説明する
 - ➡鬼役を先生が行い、鬼1人に対して子ども最大3名同時に行う
※例えば子ども5名同時に行う場合は鬼役2名で行う
 - ➡鬼は動けるエリアを横に移動し、子ども達がゴールエリアへ行けないよう邪魔をする
 - ➡子ども達は鬼にタッチされてしまわないよう通り抜けて、ゴールエリアにトライを決める
 - ➡トライを決める際に、「トライ!」と試みるよう声かけをする
 - ➡タッチをされてしまったらスタート地点に戻ってやりなおし
 - ➡グループ全員がトライできるよう、先にトライを決めた子ども達はゴールエリア横から応援する
 - ➡グループ全員がトライを決めたら、スタートラインに戻り、先頭グループにボールを渡して列の一番後ろに並ぶ
- ②実際に先生がトライの見本を見せる
- ③実際にトライを決める突破鬼に挑戦する
 - ➡トライを決めた後は「勇気を出してよく通り抜けたね!」など、子どもなりにチャレンジした過程を褒める

STEP 4 実際のタグラグビーに挑戦!

25分

環境構成

- 図のようにタグラグビーコートにマーカーやカラーコーンでつくる
- 子ども達4人で1チームをつくる



※コートの広さは活動場所の広さによって変えてもよい

活動の進め方

- ①タグラグビーのルールを説明する
 - ➡基本的なルールは(公財)日本ラグビーフットボール協会オフィシャルルールに準拠する
URL:<https://www.tagrugby-japan.jp/education/05.html>
タグラグビー 基本的ルール 検索
 - ➡基本的なルールはあるが、プレーに慣れていかないと理解しづらいルールもあるので、ルールに縛られずにまずは子ども達みんなが楽しむことが重要であることを伝える
 - 例)ノックオン
キャッチミスで前方にボールを落としてしまっても慣れるまでは反則にせずプレーを続ける
ただし、地面にあるボールに対して飛び込むようなプレーは大変危険なので、ボールを立ったまま拾うよう注意を促す
 - 例)スローフォワード
ボールを前にパスをしても慣れるまでは反則にせずプレーを続ける
 - 例)オーバーステップ
タグを取られたら、取られた場所に一度戻ってから再開するなど子ども達に分かりやすいルールにする
 - ➡タグを取るときは「タグ!」と大きな声で言い、タグを返すときは優しく丁寧に返してあげ、返された子どもは「ありがとう!」ときちんと言い、お互いハイタッチをすることをルールとする
 - ➡今までの活動同様「ぶつからない」「ころばない」ように注意を促す
 - ➡「ノーサイドの精神」をしっかり子ども達に伝える
相手チームは「敵」ではなく「仲間」であり、ゲームが終わったら、しっかり握手をして「楽しかったね」と笑顔で終わることを伝える
- ②実際にタグラグビーに挑戦する